

学校教育目標

- ・自ら考え、学び続ける生徒
- ・豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
- ・健康で、たくましく生きる生徒

環境教育の方針

- ・自然や命を大切にし、思いやりの気持ちをもって行動しよう。
- ・1人1台端末を活用し、身の回りの自然や環境に関心を持ち、**探究しよう**。
- ・郷土の自然や文化に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てよう。
- ・積極的に自然と触れ合い、親しもうとする心を育てよう。

前年度からの課題

- 生徒・教職員・保護者の環境への意識の高揚を図る
- 教室の環境整備のために日常の清掃活動に対する意識の高揚と清掃方法の改善を図る。
- SDGsの視点を踏まえて、環境保護・保全活動の継続と発展に努める

環境教育でめざす子どもの姿

よりよい環境を創造するため、生活の中で積極的に実践する生徒

具体的教育活動

<本校で取り組む特色ある環境教育活動>

<各教科等における学習目標>

- 国語：思考力・判断力・表現力を育て、SDGsの理念を踏まえて地球規模の環境問題や地域文化への理解を深め、積極的にいかかわっていかこうとする態度を育てる。
- 社会：国土や郷土の気候等の自然環境の特色を学び、郷土を愛する心を育てる。
- 理科：SDGsとの関連を図り、温暖化、外来種問題等について調べ学習や発表を行い、環境問題への理解を深め、積極的にかかわっていかこうとする態度を育てる。
- 家庭：持続可能な社会をめざし、身近な消費生活を見直すとともに、SDGsについての理解を深めさせる。
- 保健体育：健康と環境について、SDGsの行動目標との関連を図り、環境問題についての理解を深める。
- 総合的な学習の時間：自然環境や社会環境の中から見いだした課題について追究し、解決に向けて主体的に学習を進めることができる能力と態度を育てる。

<生徒会活動>

- ・整備委員会による週末のリサイクルボックスの回収、毎日の各教室の清掃点検
- ・生徒会と青少年対策地区委員会との連携による地域清掃ボランティア

<学校全体>

- ・ミスプリントのリサイクルボックス回収と再利用（3R推進）
- ・空き教室の消灯、空調設備の電源オフの徹底（省エネ・CO<sub>2</sub>削減の推進）
- ・ごみの分別の徹底（3R推進） ・SDGsのポスター掲示による広報活動

<家庭・地域との連携>

- ・学校だより、委員会だよりにより、家庭における環境教育への理解と関心を高め、連携を深める。
- ・12月第一土曜日に行う地域の清掃活動を通して、地域への関心を高めるとともに、環境保全の精神を養う。

<環境教育活動年間計画>

面談期間（10・12月）：  
ボランティア清掃  
2学期：地域清掃  
通年：リサイクルボックス回収  
通年：教室の清掃点検